

## 第2 刑法犯少年

### 1 検挙・補導人員の推移

過去10年間の県内における推移を見ると、犯罪少年は減少傾向にあり、触法少年は増減を繰り返している。令和4年中の刑法犯少年は177人で、前年に比べ40人減少した。

第3表 刑法犯少年の検挙・補導人員の10年間の推移

区分		年次									
		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
三重県	犯罪少年	593	570	388	294	248	240	215	175	172	148
	触法少年	32	35	45	28	73	32	22	22	45	29
	総数	625	605	433	322	321	272	237	197	217	177
	指数	100	97	69	52	51	44	38	32	35	28
全国	犯罪少年	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466	14,818	14,887
	触法少年	12,592	11,846	9,759	8,587	8,311	6,969	6,162	5,086	5,581	6,025
	総数	69,061	60,207	48,680	40,103	35,108	30,458	26,076	22,552	20,399	20,912
	指数	100	87	70	58	51	44	38	33	30	30

### 2 人口比

過去10年間の県内における推移を見ると、減少傾向にあり、令和4年中の刑法犯少年（触法少年を除く。）の人口比は1.5で、前年に比べ0.3ポイント減少した。

第4表 刑法犯少年（触法少年を除く。）人口比の10年間の推移

区分		年次									
		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
三重県	犯罪少年 人員 (人口比)	593	570	388	294	248	240	215	175	172	148
		(5.4)	(5.3)	(3.6)	(2.8)	(2.3)	(2.3)	(2.1)	(1.7)	(1.8)	(1.5)
全国	犯罪少年 人員 (人口比)	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466	14,818	14,887
		(7.8)	(6.8)	(5.5)	(4.5)	(3.8)	(3.4)	(2.9)	(2.6)	(2.2)	(2.3)

(注) 人口比は少年（14歳以上20歳未満）人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

○三重県 14～19歳の推計人口 96,084人

(令和4年10月1日現在 三重の統計情報による推計人口)

### 3 包括罪種別状況

#### (1) 検挙・補導人員の推移

過去10年間の推移を見ると、窃盗犯は、令和4年が平成25年と比べて4分の1以下となっている。

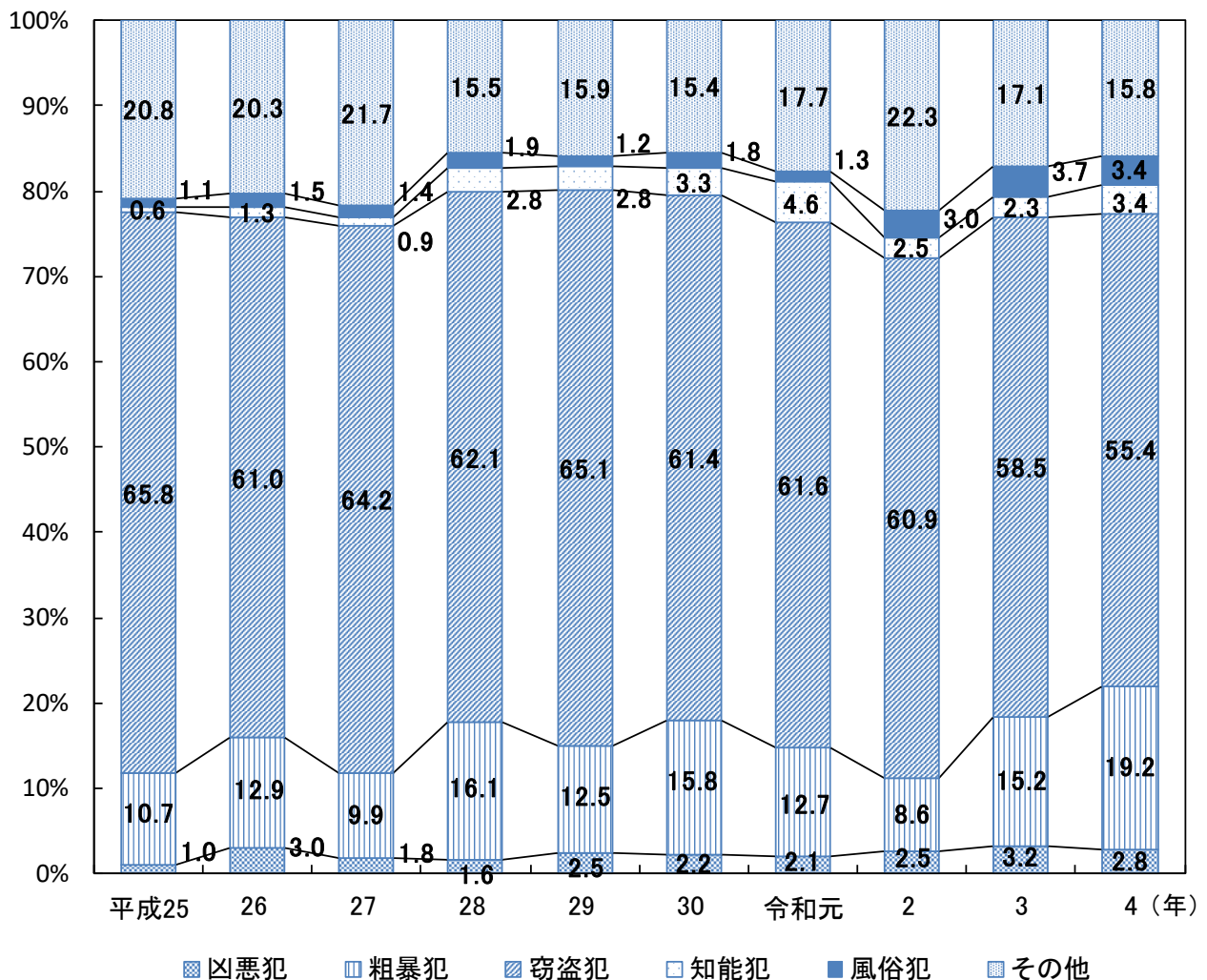
第5表 刑法犯少年の包括罪種別状況の10年間の推移

罪種別	年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
凶悪犯		6	18	8	5	8	6	5	5	7	5
粗暴犯		67	78	43	52	40	43	30	17	33	34
窃盗犯		411	369	278	200	209	167	146	120	127	98
知能犯		4	8	4	9	9	9	11	5	5	6
風俗犯		7	9	6	6	4	5	3	6	8	6
その他		130	123	94	50	51	42	42	44	37	28
(占脱横領)		(82)	(65)	(42)	(24)	(26)	(17)	(14)	(10)	(8)	(11)
総数		625	605	433	322	321	272	237	197	217	177

#### (2) 構成比の推移

過去10年間の推移を構成比で見ると、窃盗犯が最も高く、いずれの年も約6割を占めている。

第2図 刑法犯少年の包括罪種別状況の10年間の推移



#### 4 罪種別状況

令和4年中の罪種別検挙・補導状況は、前年に比べ、凶悪犯、窃盗犯、風俗犯は減少し、粗暴犯、知能犯は増加した。

第6表 刑法犯少年の罪種別検挙・補導状況

罪種別	年次	人 員		増 減	
		令 和 4 年	令 和 3 年	数	率 ( % )
総	数	177	217	-40	-18.4
凶	悪 犯	5	7	-2	-28.6
	殺 人	0	0	0	-
	強 盗	3	1	2	200.0
	放 火	1	0	1	-
	強 制 性 交 等	1	6	-5	-83.3
粗	暴 犯	34	33	1	3.0
	凶 器 準 備 集 合	0	0	0	-
	暴 行	7	3	4	133.3
	傷 害	23	23	0	0.0
	脅 迫	2	2	0	0.0
	喝	2	5	-3	-60.0
窃	盗 犯	98	127	-29	-22.8
知	能 犯	6	5	1	20.0
	詐 欺	5	4	1	25.0
	横 領	0	1	-1	-100.0
	そ の 他	1	0	1	-
風	俗 犯	6	8	-2	-25.0
	賭 博	0	0	0	-
	わ い せ つ	6	8	-2	-25.0
そ の 他		28	37	-9	-24.3

## 5 年齢別状況

### (1) 検挙・補導人員の推移

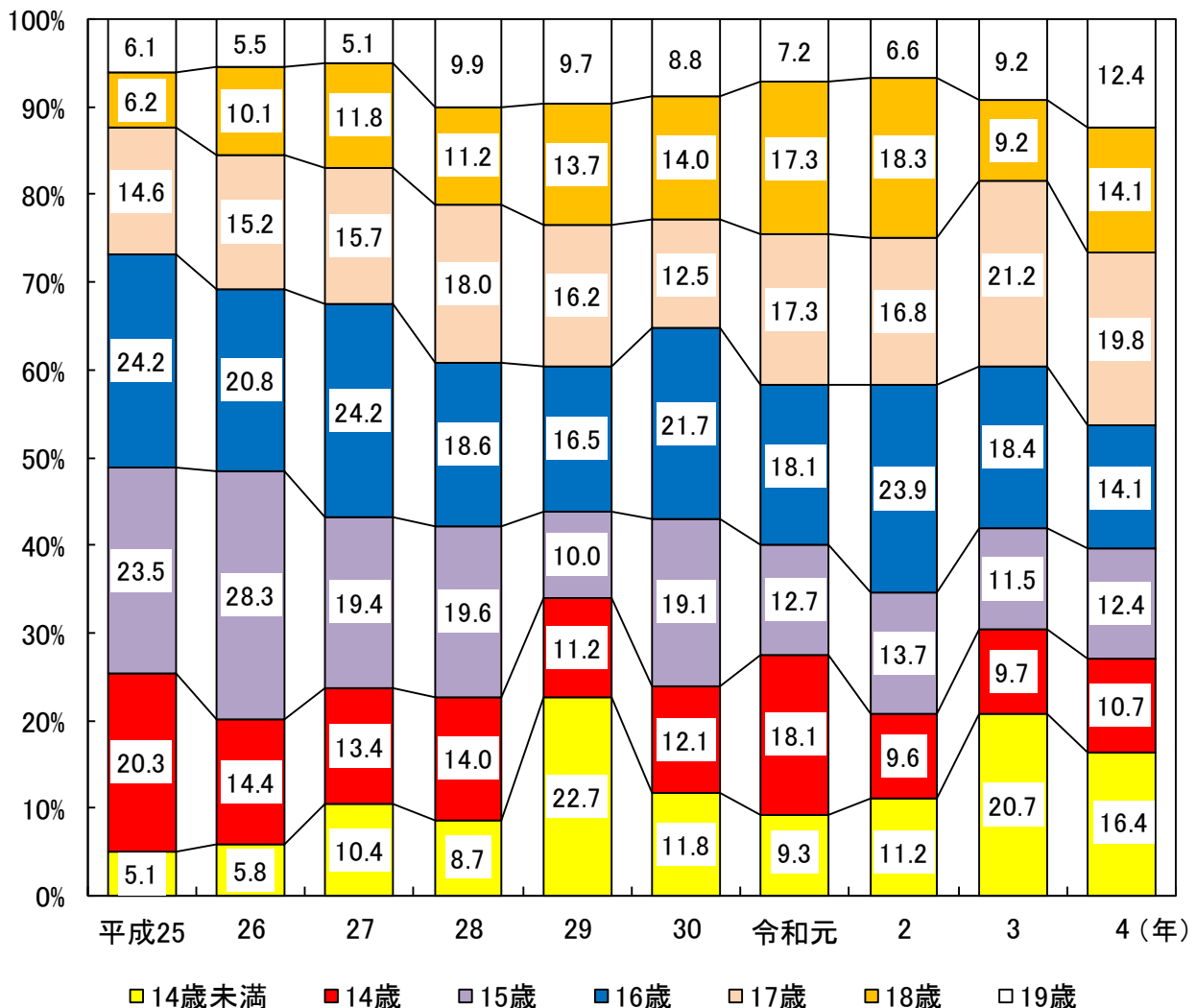
過去10年間の推移を構成比で見ると、令和2年までは16歳の占める割合が比較的高かったが、令和3年以降は、14歳未満及び17歳の占める割合が高くなっている。

令和4年中の年齢別検挙・補導人員は、17歳が35人（19.8%）と最も多く、次いで14歳未満が29人（16.4%）、16歳と18歳が25人（14.1%）であった。

第7表 年齢別検挙・補導人員の10年間の推移

年齢別 \ 年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
14歳未満	32	35	45	28	73	32	22	22	45	29
14歳	127	87	58	45	36	33	43	19	21	19
15歳	147	171	84	63	32	52	30	27	25	22
16歳	151	126	105	60	53	59	43	47	40	25
17歳	91	92	68	58	52	34	41	33	46	35
18歳	39	61	51	36	44	38	41	36	20	25
19歳	38	33	22	32	31	24	17	13	20	22
総数	625	605	433	322	321	272	237	197	217	177

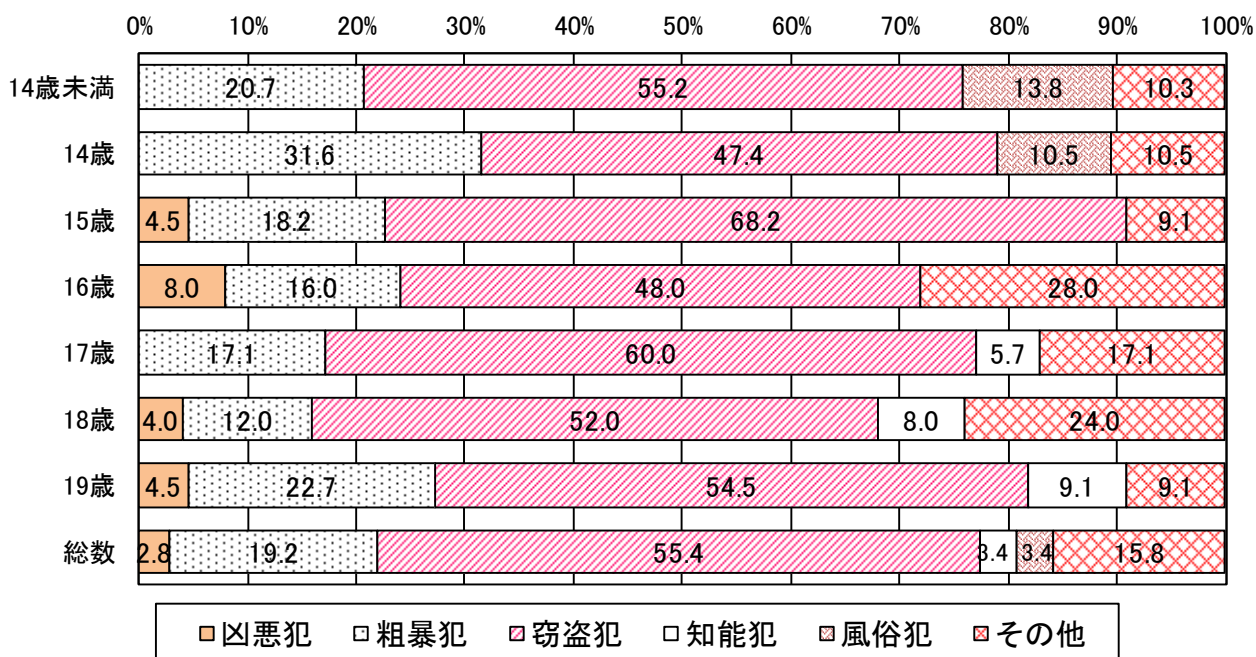
第3図 年齢別構成比の10年間の推移



## (2) 年齢別・包括罪種別構成比

令和4年中の年齢別・包括罪種別構成比は、全ての年齢で窃盗犯の比率が最も高く、15歳では約7割を占めた。

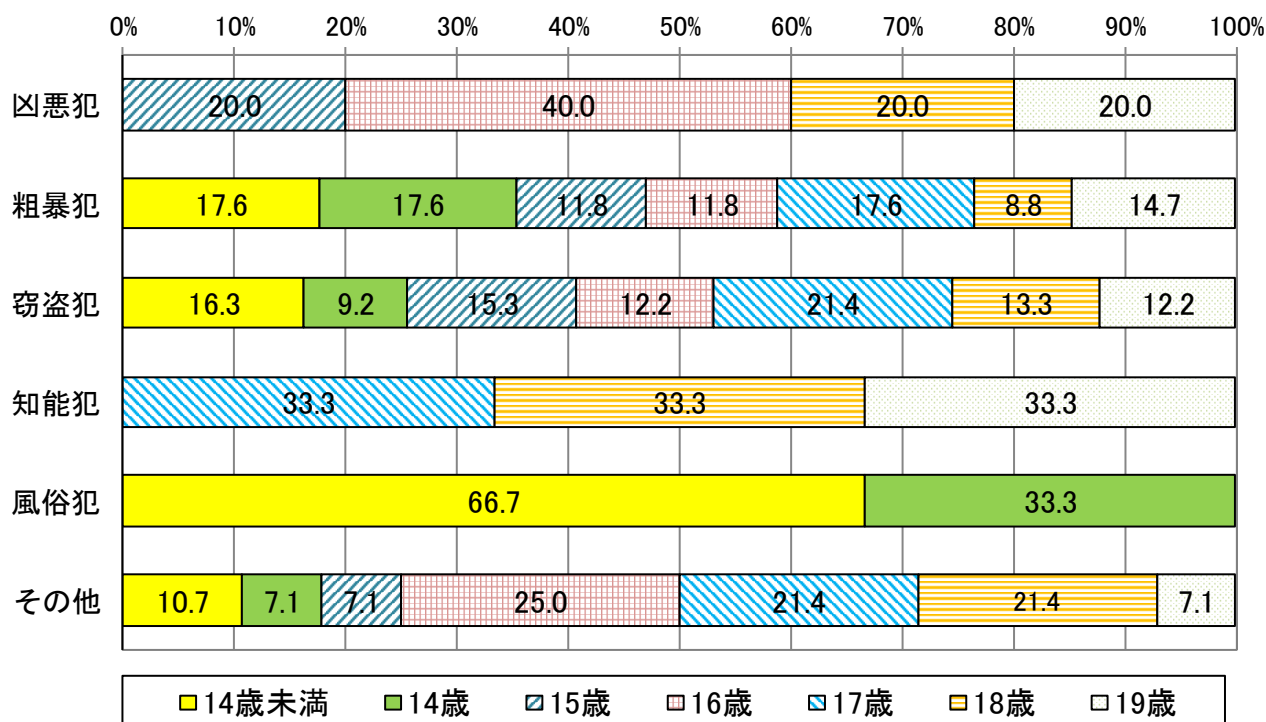
第4図 年齢別・包括罪種別構成比



## (3) 包括罪種別・年齢別構成比

令和4年中の包括罪種別・年齢別構成比は、凶悪犯では、16歳で40.0%、粗暴犯では14歳未満、14歳、17歳で17.6%、窃盗犯では17歳で21.4%、知能犯では17歳、18歳、19歳で33.3%、風俗犯では14歳未満で66.7%が、それぞれ最も高い比率を占めた。

第5図 包括罪種別・年齢別構成比



## 6 学職別状況

### (1) 検挙・補導人員及び構成比の推移

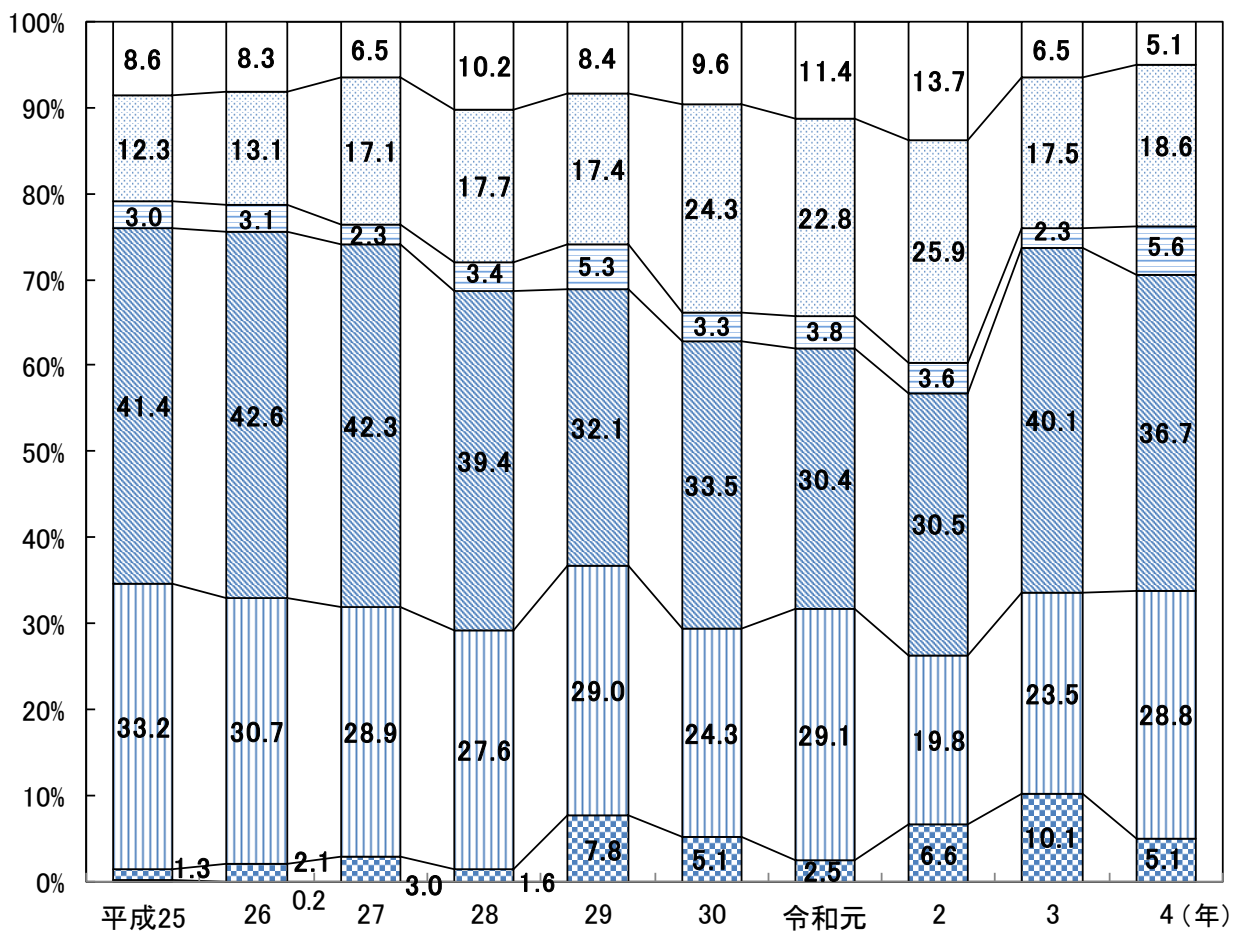
過去10年間の推移を見ると、全体では減少傾向にあるものの、小学生は、増減を繰り返している。また、その他学生が、令和4年中は増加に転じた。

令和4年中の学職別検挙・補導人員は、高校生が65人（36.7%）で最も多く、次いで中学生が51人（28.8%）、有職少年が33人（18.6%）であった。

第8表 学職別検挙・補導人員の10年間の推移

学職別	年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
総	数	626	605	433	322	321	272	237	197	217	177
未	就 学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児	童・生徒・学生	494	476	331	232	238	180	156	119	165	135
	小 学 生	8	13	13	5	25	14	6	13	22	9
	中 学 生	208	186	125	89	93	66	69	39	51	51
	高 校 生	259	258	183	127	103	91	72	60	87	65
	そ の 他 の 学 生	19	19	10	11	17	9	9	7	5	10
	有 職 少 年	77	79	74	57	56	66	54	51	38	33
	無 職 少 年	54	50	28	33	27	26	27	27	14	9

第6図 学職別構成比の10年間の推移

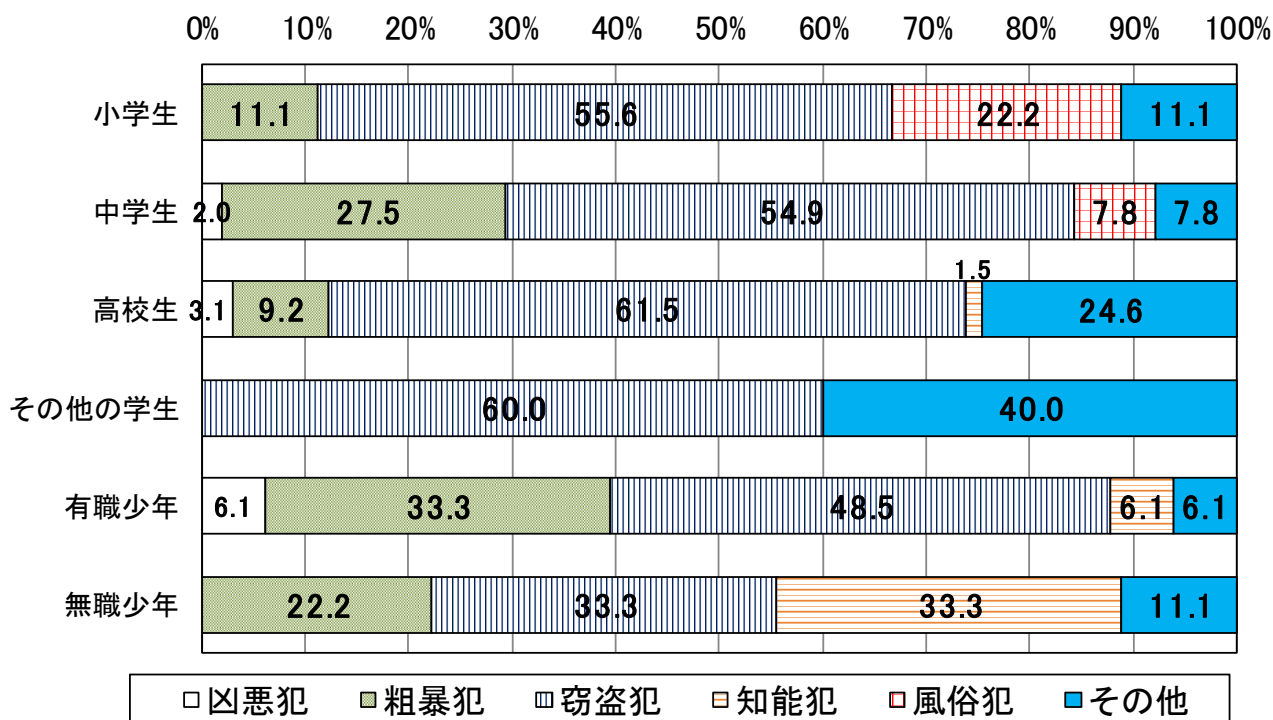


■未就学 □小学生 □中学生 □高校生 □その他の学生 □有職少年 □無職少年

## (2) 学職別・包括罪種別構成比

令和4年中の学職別・包括罪種別構成比は、すべての学職で窃盗犯の割合が最も高く、高校生、その他学生では6割以上、小学生では約6割を占めた。

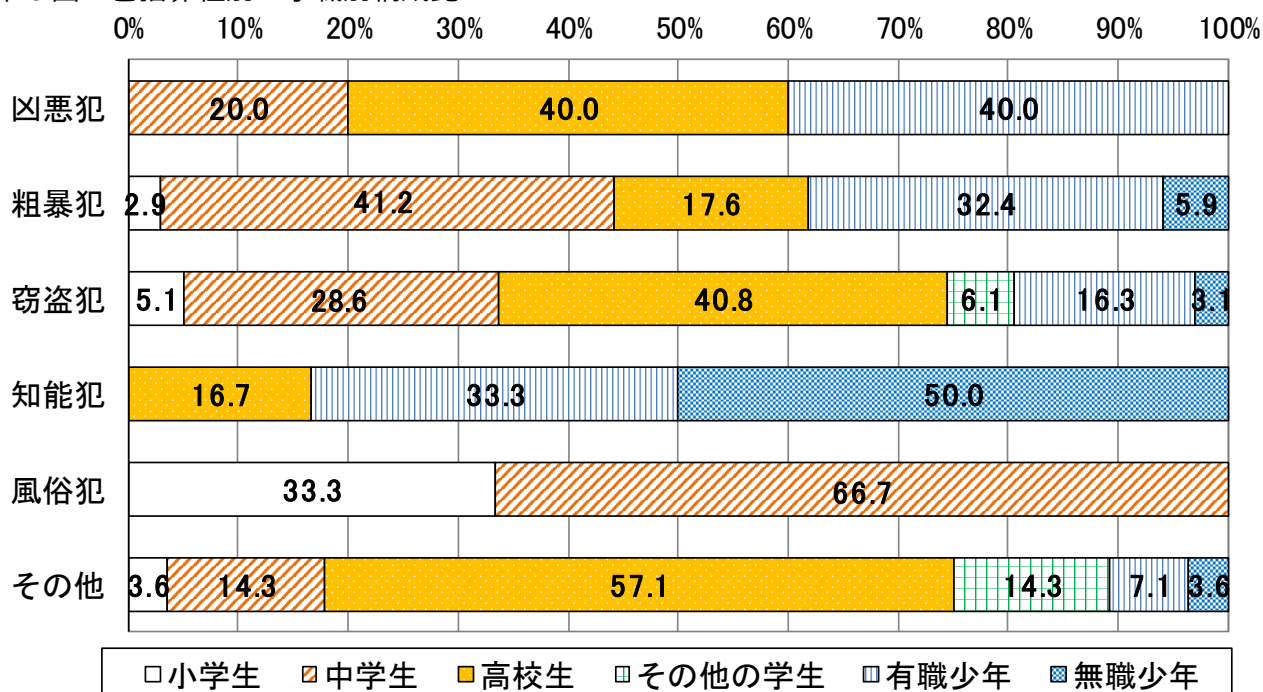
第7図 学職別・包括罪種別構成比



## (3) 包括罪種別・学職別構成比

令和4年中の包括罪種別・学職別構成比は、凶悪犯では高校生、その他学生が40.0%と最も高い割合を占めた。また、粗暴犯では中学生が41.2%、窃盗犯では高校生が40.8%、知能犯では無職少年が50.0%、風俗犯では中学生が66.7%と最も高い割合を占めた。

第8図 包括罪種別・学職別構成比



## 7 男女別状況

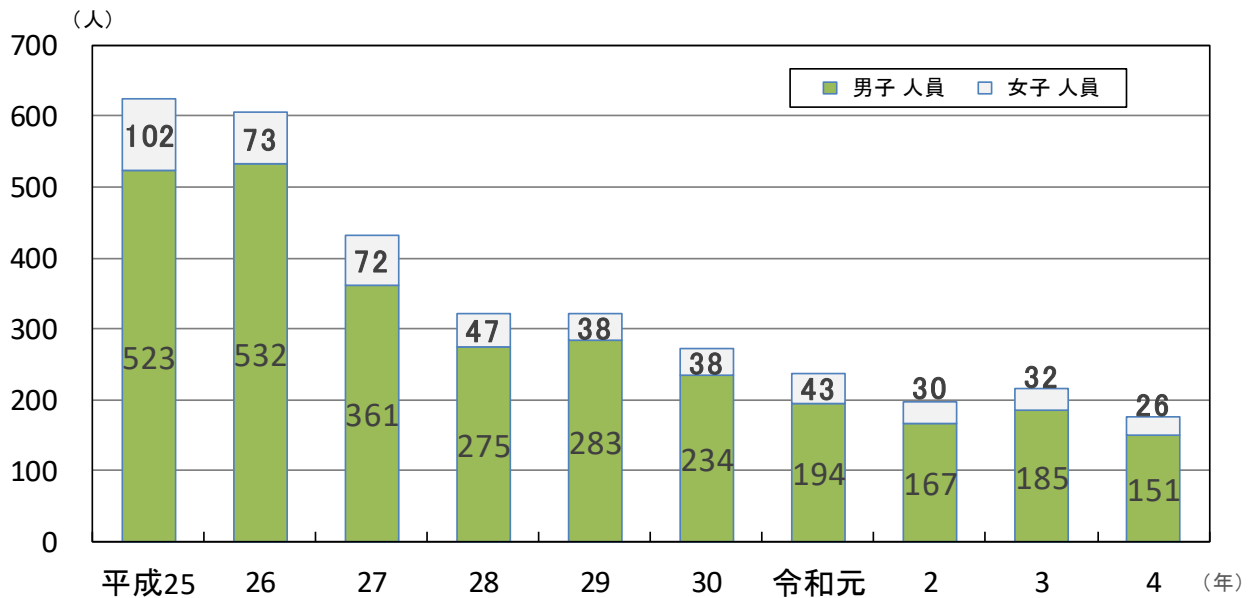
### (1) 検挙・補導人員の推移

過去10年間の県内における推移を見ると、男女共に減少傾向にあるものの増減を繰り返している。令和4年中の男女別検挙・補導人員は、男子が151人（85.3%）、女子が26人（14.7%）であった。

第9表 男女別検挙・補導人員の推移（触法少年を含む。）

区分		年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
			人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
三重県	男子	人員	523	532	361	275	283	234	194	167	185	151
		指数	100	102	69	53	54	45	37	32	35	29
		構成比(%)	83.7	87.9	83.4	85.4	88.2	86.0	81.9	84.8	85.3	85.3
	女子	人員	102	73	72	47	38	38	43	30	32	26
		指数	100	72	71	46	37	37	42	29	31	25
		構成比(%)	16.3	12.1	16.6	14.6	11.8	14.0	18.1	15.2	14.7	14.7
全国	男子	人員	57,621	51,343	42,056	34,798	30,009	25,834	21,975	18,900	16,840	17,494
		指数	100	89	73	60	52	45	38	33	29	30
	女子	人員	11,440	8,864	6,624	5,305	5,099	4,624	4,101	3,652	3,559	3,418
		指数	100	77	58	46	45	40	36	32	31	30

第9図 男女別検挙・補導人員の推移（触法少年を含む。）

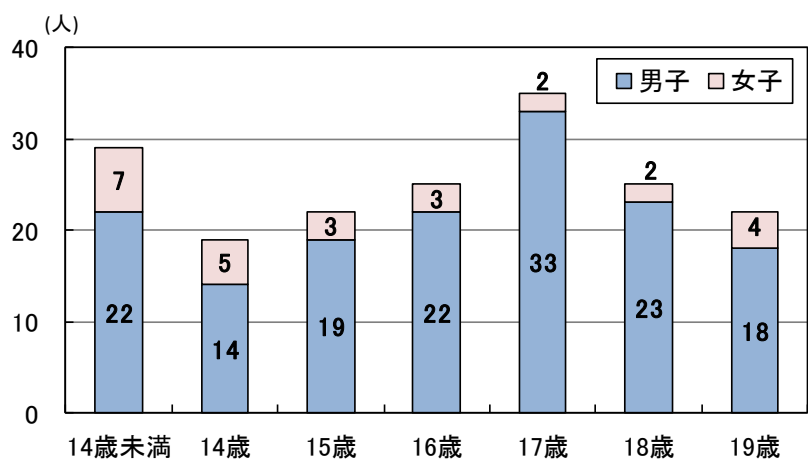


### (2) 年齢別状況

令和4年中の年齢別検挙・補導人員は、男子は17歳が33人（21.9%）で最も多く、女子は14歳未満が7人（26.9%）で最も多い。

前年に比べて最も増加した年齢は、男子は18歳（+6人）、女子は19歳（+2人）であった。

第10図 年齢別検挙・補導人員





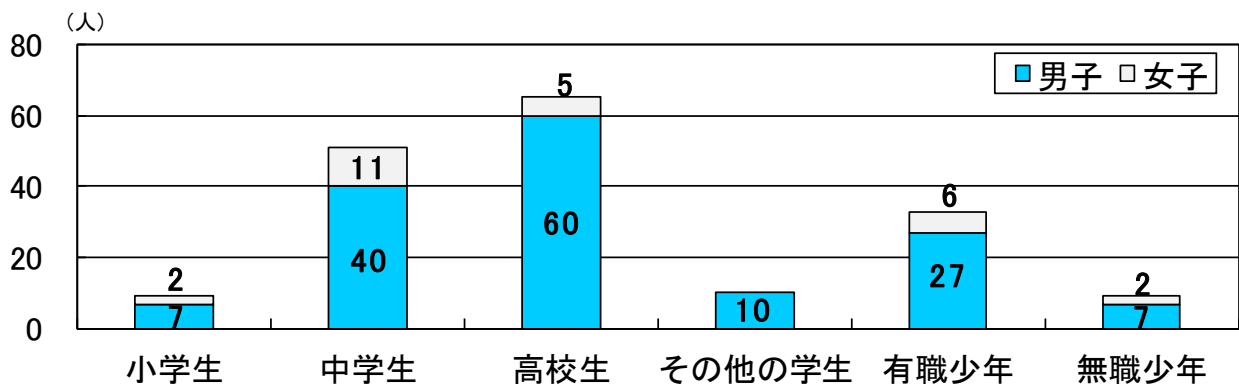
第10表 年齢別検挙・補導人員

男女別		年齢別	総数	14歳未満	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
男子	令和4年		151	22	14	19	22	33	23	18
		構成比(%)	-	14.6	9.3	12.6	14.6	21.9	15.2	11.9
	令和3年		185	39	16	20	36	39	17	18
		構成比(%)	-	21.1	8.6	10.8	19.5	21.1	9.2	9.7
女子	令和4年		26	7	5	3	3	2	2	4
		構成比(%)	-	26.9	19.2	11.5	11.5	7.7	7.7	15.4
	令和3年		32	6	5	5	4	7	3	2
		構成比(%)	-	18.8	15.6	15.6	12.5	21.9	9.4	6.3

(3) 学職別状況

令和4年中の学職別検挙・補導人員は、男子は高校生が最も多く60人（39.7%）、女子は中学生が最も多く11人（42.3%）であった。前年と比べて増加したのは、男子はその他学生（+6人）、女子は有職少年（+6人）であった。

第11図 学職別検挙・補導人員



第11表 学職別検挙・補導人員

男女別		学職別	総数	未就学	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年
男子	令和4年		151	0	7	40	60	10	27	7
		構成比(%)	-	0.0	4.6	26.5	39.7	6.6	17.9	4.6
	令和3年		185	0	19	40	73	4	38	11
		構成比(%)	-	0.0	10.3	21.6	39.5	2.2	20.5	5.9
女子	令和4年		26	0	2	11	5	0	6	2
		構成比(%)	-	0.0	7.7	42.3	19.2	0.0	23.1	7.7
	令和3年		32	0	3	11	14	1	0	3
		構成比(%)	-	0.0	9.4	34.4	43.8	3.1	0.0	9.4

(4) 包括罪種別

令和4年中の包括罪種別の検挙・補導人員は、男女ともに窃盗犯が最も多く、男女とも5割以上を占めた。男子は粗暴犯と窃盗犯、知能犯、女子は粗暴犯の割合が増加した。

第12表 包括罪種別検挙・補導人員

男女別		罪種別	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
男子	令和4年		151	5	25	83	6	6	26
		構成比(%)	-	3.3	16.6	55.0	4.0	4.0	17.2
	令和3年		185	7	30	101	3	8	36
		構成比(%)	-	3.8	16.2	54.6	1.6	4.3	19.5
女子	令和4年		26	0	9	15	0	0	2
		構成比(%)	-	0.0	34.6	57.7	0.0	0.0	7.7
	令和3年		32	0	3	26	2	0	1
		構成比(%)	-	0.0	9.4	81.3	6.3	0.0	3.1

## 8 包括罪種別非行場所の状況

令和4年中の非行場所では、駐車場（駐輪場）が40人（22.6%）で最も多く、住宅が32人（18.1%）で、これらで全体の4割以上を占めた。

第13表 包括罪種別非行場所の状況

非行場所 罪種別	住宅	（学） 幼稚園	（駐） 駐車場	道 路上	鉄 道・ 施設	神 社・ 仏 閣	競 輪 場	公 園	ス テ ー パ ー ト	ビ レ ン オ タ ル	そ の 他 の 商 店	古 物 の 店	風 俗 営 業 所	ボ カ ッ ラ ク オ ス ケ	飲 食 店	タ ク シ ー 内	事 務 社 ・ 会 所	空 き 地	高 速 道 路	そ の 他	合 計	
凶悪犯	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
粗暴犯	6	7	5	6	2	0	0	4	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	34
窃盗犯	15	2	24	2	1	0	0	0	22	0	24	1	1	1	0	0	1	0	0	0	4	98
知能犯	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
風俗犯	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
その他	6	4	11	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	28
総数	32	15	40	16	6	0	0	4	23	0	27	1	1	2	0	2	0	0	0	8	177	
構成比(%)	18.1	8.5	22.6	9.0	3.4	0.0	0.0	2.3	13.0	0.0	15.3	0.6	0.6	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.5	-	

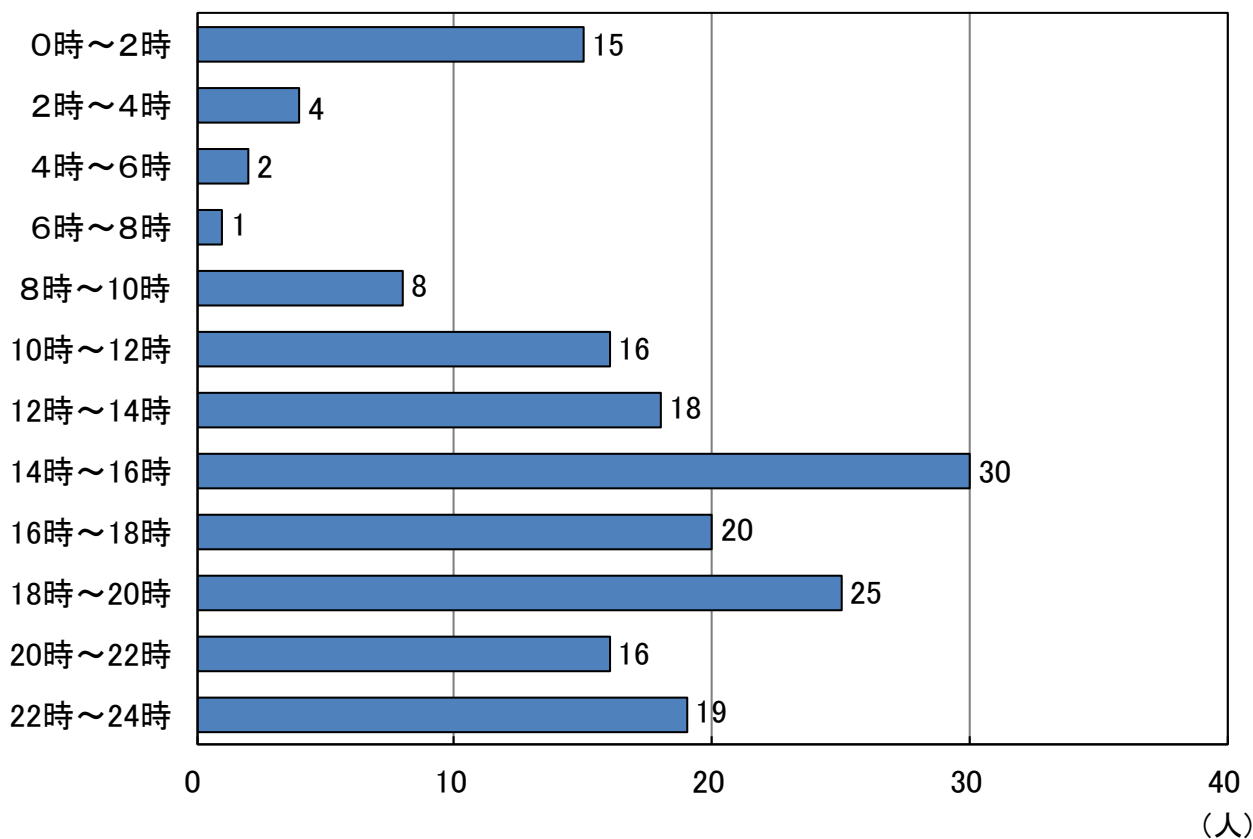
## 9 非行時間帯別包括罪種の状況

令和4年中の非行時間帯では、14時～16時が30人（16.9%）で最も多く、次いで18時～20時が25人（14.1%）、16時～18時が20人（11.3%）、22時～24時が19人（10.7%）であった。

第14表 非行時間帯別包括罪種の状況

包括罪種別 非行時間帯	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	総数	構成比(%)
0時～2時	0	1	12	0	0	2	15	8.5
2時～4時	0	0	1	0	0	3	4	2.3
4時～6時	0	0	2	0	0	0	2	1.1
6時～8時	0	0	1	0	0	0	1	0.6
8時～10時	0	1	3	0	1	3	8	4.5
10時～12時	0	4	8	0	2	2	16	9.0
12時～14時	1	3	9	1	0	4	18	10.2
14時～16時	0	6	18	2	3	1	30	16.9
16時～18時	0	3	12	0	0	5	20	11.3
18時～20時	0	8	15	1	0	1	25	14.1
20時～22時	2	5	5	1	0	3	16	9.0
22時～24時	2	2	11	1	0	3	19	10.7
不明	0	1	1	0	0	1	3	1.7
総数	5	34	98	6	6	28	177	-

第12図 非行時間帯の状況

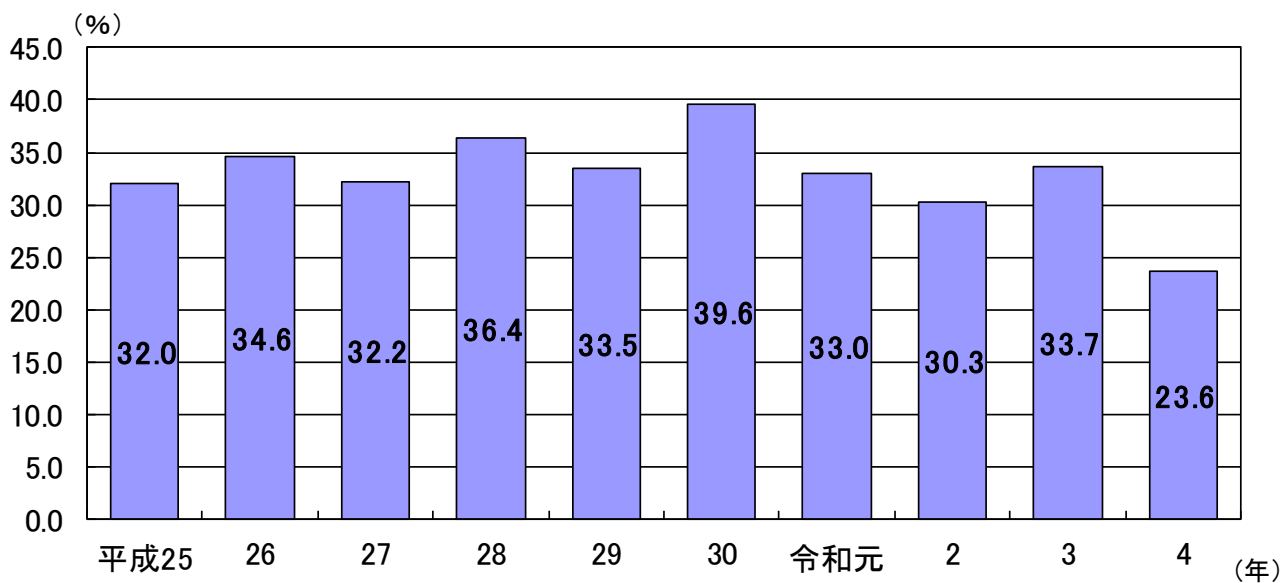


## 10 再犯者率の状況（触法少年を除く。）

### (1) 再犯者率の推移

過去10年間の推移を見ると、令和3年中までは30～40%の間で増減を繰り返していたが、令和4年中の刑法犯少年の再犯者率は23.6%と前年に比べ10.1ポイント減少した。

第13図 再犯者率の推移



## (2) 包括罪種別再犯者率

令和4年中の包括罪種別再犯者率は、知能犯の割合が83.3%と他の罪種と比べて高かった。

第15表 包括罪種別再犯者率

区分 罪種別	総数	非行歴 なし	非行歴 あり					再犯者率(%)
				1回	2~3回	4~5回	6回以上	
凶悪犯	5	5	0	0	0	0	0	0.0
粗暴犯	28	19	9	4	2	2	1	32.1
窃盗犯	82	67	15	11	2	2	0	18.3
知能犯	6	1	5	0	4	0	1	83.3
風俗犯	2	2	0	0	0	0	0	0.0
その他	25	19	6	3	1	1	1	24.0
総数	148	113	35	18	9	5	3	23.6
構成比(%)	—	76.4	23.6	12.2	6.1	3.4	2.0	

## 11 窃盗犯少年の状況

### (1) 検挙・補導人員の推移

過去10年間の県内における推移を見ると、減少傾向であるが、全国と比べて、窃盗犯の占める割合が多い。

令和4年中の窃盗犯少年の検挙・補導人員は、98人で前年に比べ29人減少し、平成25年と比べて約4分の1となった。

第16表 窃盗犯少年の検挙・補導人員の推移（触法少年を含む。）

区別		年次									
		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
三重県	刑法犯少年総数	625	605	433	322	321	272	237	197	217	177
	窃盗犯少年	411	369	278	200	209	167	146	120	127	98
	指数	100	90	68	49	51	41	36	29	31	24
	刑法犯少年総数中に占める窃盗犯の割合(%)	65.8	61.0	64.2	62.1	65.1	61.4	61.6	60.9	58.5	55.4
全国	刑法犯少年総数	69,061	60,207	48,680	40,103	35,108	30,458	26,076	22,552	20,399	20,912
	窃盗犯少年	41,203	35,974	29,413	23,997	21,110	17,848	14,700	12,333	10,691	10,967
	指数	100	87	71	58	51	43	36	30	26	27
	刑法犯少年総数中に占める窃盗犯の割合(%)	59.7	59.8	60.4	59.8	60.1	58.6	56.4	54.7	52.4	52.4

### (2) 年齢別検挙・補導人員の推移

過去10年間の推移を見ると、全年齢で増減を繰り返している。

令和4年中の窃盗犯少年の年齢別検挙・補導人員は、17歳が21人（21.4%）と最も多かった。また、19歳では、前年に比べて3人増加した。

第17表 窃盗犯少年の年齢別検挙・補導人員の推移

年齢別		年次									
		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
総数		411	369	278	200	209	167	146	120	127	98
14歳未満		18	27	26	19	51	17	16	14	26	16
14歳		93	44	42	34	25	27	22	13	13	9
15歳		98	116	58	46	23	34	18	20	17	15
16歳		97	81	72	38	34	38	27	29	26	12
17歳		62	53	50	31	36	21	29	14	23	21
18歳		22	37	20	15	25	19	23	21	13	13
19歳		21	11	10	17	15	11	11	9	9	12

### (3) 学職別検挙・補導人員の推移

過去10年の推移を見ると、中学生、高校生、有職少年、無職少年では減少傾向であり、小学生、その他学生では、増減を繰り返している。

令和4年中の窃盗犯少年の学職別検挙・補導人員は、高校生が40人（40.8%）と最も多く、次いで中学生が28人（28.6%）と、これらで全体の約7割を占めた。

第18表 窃盗犯少年の学職別検挙・補導人員の推移

学職別		年次									
		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
総数		411	369	278	200	209	167	146	120	127	98
児童・生徒・学生		334	304	231	156	159	116	99	78	101	79
小学生		6	12	7	3	15	5	5	10	13	5
中学生		140	103	88	67	67	48	39	23	31	28
高校生		183	181	131	79	66	60	49	42	53	40
その他の学生		5	8	5	7	11	3	6	3	4	6
有職少年		44	41	30	22	27	35	28	28	17	16
無職少年		33	24	17	22	23	16	19	14	9	3

#### (4) 手口別検挙・補導人員の推移

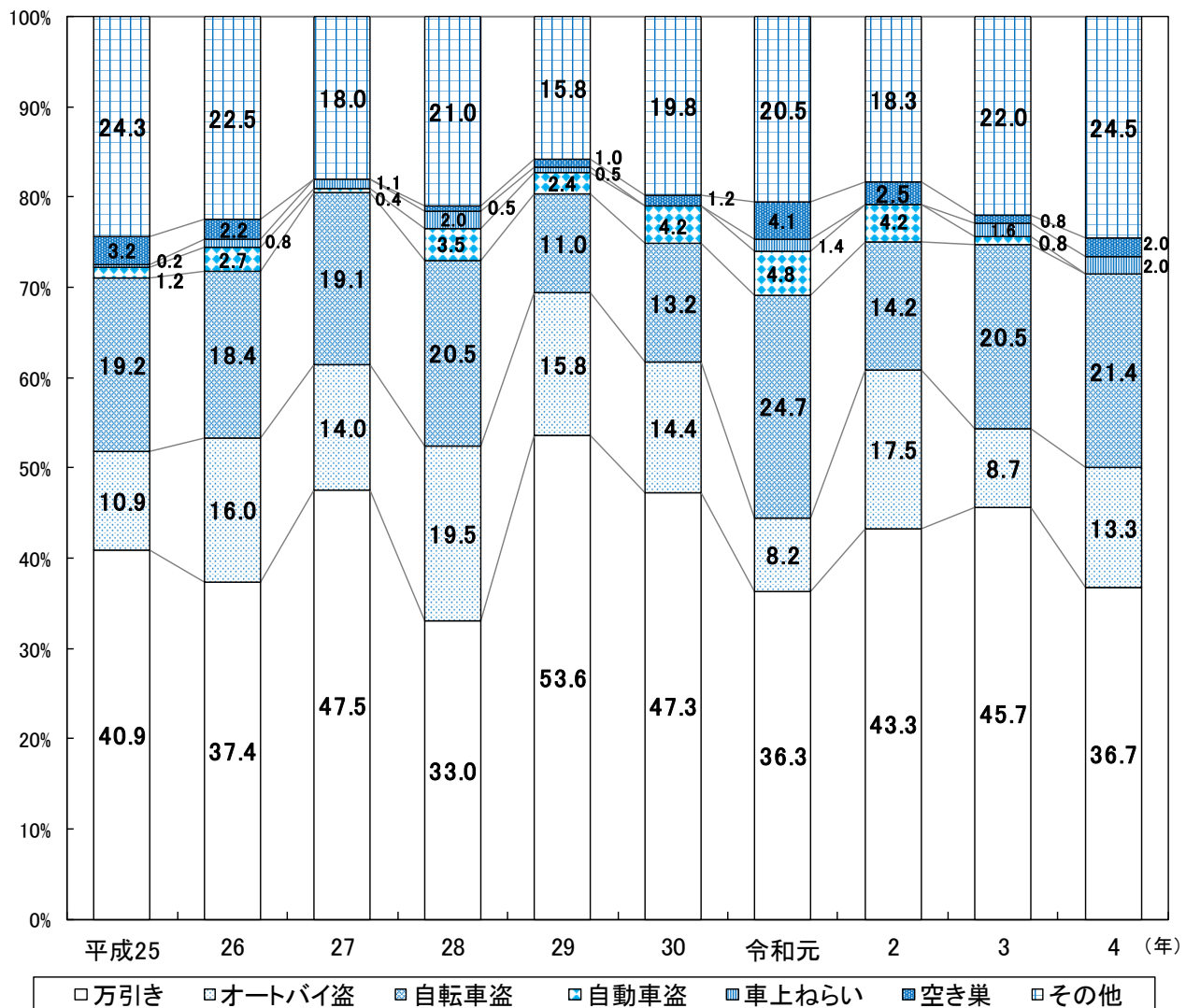
過去10年の推移を見ると、いずれの年も万引きが最も多い。

令和4年中の窃盗犯少年の手口別検挙・補導人員は、万引きが36人（36.7%）、自転車盗が21人（21.4%）、オートバイ盗が13人（13.3%）であり、これらで全体の7割以上を占めた。

第19表 窃盗犯少年の手口別検挙・補導人員

手口別	年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
総	数	411	369	278	200	209	167	146	120	127	98
	万 引 き	168	138	132	66	112	79	53	52	58	36
	オ ー ト バ イ 盗	45	59	39	39	33	24	12	21	11	13
	自 転 車 盗	79	68	53	41	23	22	36	17	26	21
	自 動 車 盗	5	10	1	7	5	7	7	5	1	0
	車 上 ね ら い	1	3	3	4	1	0	2	0	2	2
	空 き 巣	13	8	0	1	2	2	6	3	1	2
	そ の 他	100	83	50	42	33	33	30	22	28	24

第14図 窃盗犯少年の手口別構成比



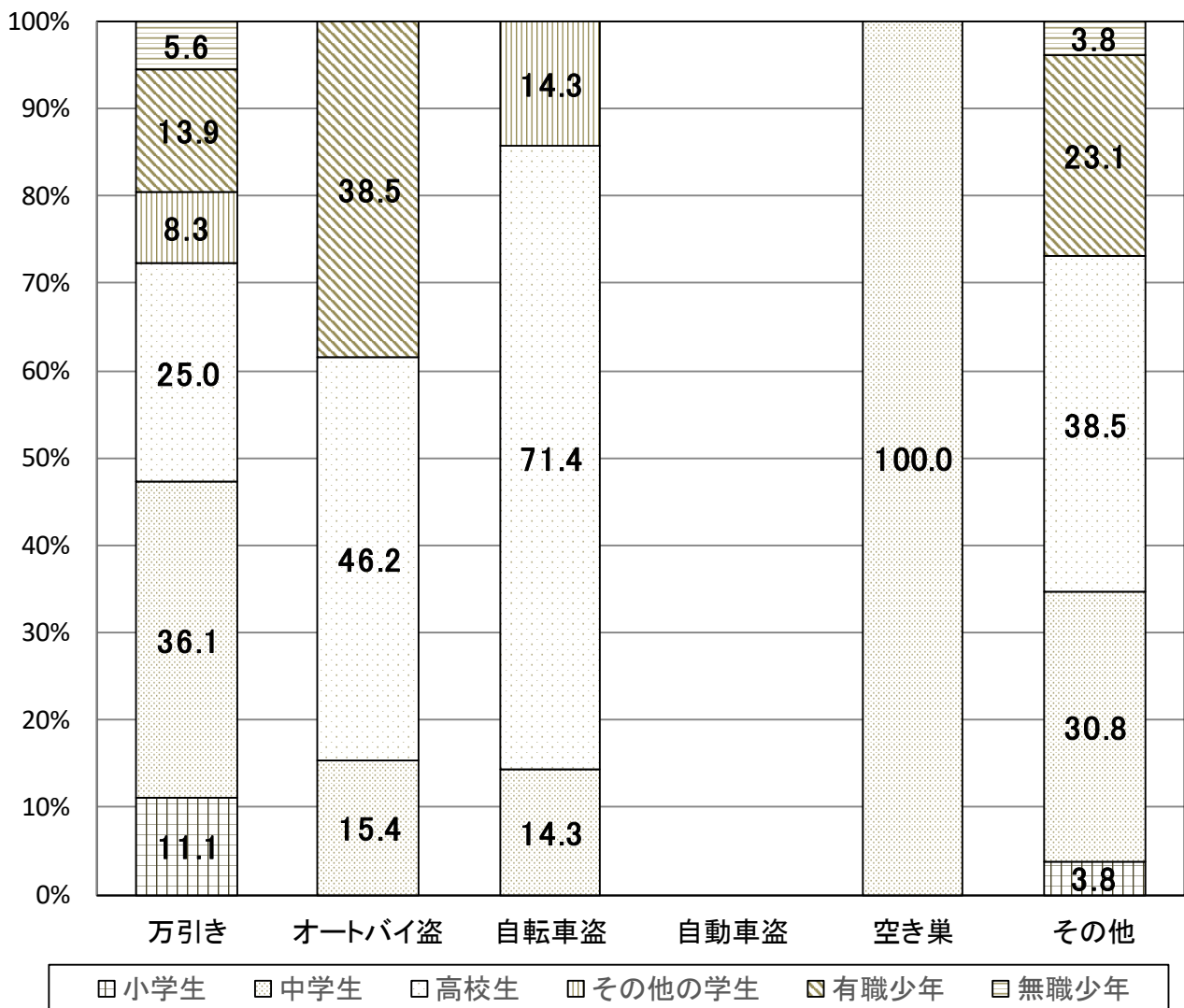
### (5) 主要手口の学職別構成

令和4年中の窃盗犯少年の主要手口の学職別構成は、万引きでは中学生が13人（36.1%）、オートバイ盗では高校生が6人（46.2%）、自転車盗では高校生が15人（71.4%）で、空き巣では中学生が2人（100.0%）で、それぞれ最も高い比率を占めた。

第20表 窃盗犯少年の主要手口の学職別構成

学職別	手口別 総数	手口別						その他
		万引き	オートバイ盗	自転車盗	自動車盗	空き巣		
総数	98	36	13	21	0	2	26	
小学生	5	4	0	0	0	0	1	
中学生	28	13	2	3	0	2	8	
高校生	40	9	6	15	0	0	10	
その他の学生	6	3	0	3	0	0	0	
有職少年	16	5	5	0	0	0	6	
無職少年	3	2	0	0	0	0	1	

第15図 窃盗犯少年の主要手口別の学職別構成比



## 12 初発型非行の状況

### (1) 初発型非行の推移

過去10年間の推移を見ると、減少傾向であるが、令和4年中における刑法犯少年全体に占める初発型非行の割合は、全国と比べてほぼ同じであった。

令和4年中の初発型非行の検挙・補導人員は81人で、前年に比べ22人減少し、刑法犯少年全体の約5割を占めた。

第21表 初発型非行の検挙・補導人員の推移

区分	年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
刑法犯少年総数		625	605	433	322	321	272	237	197	217	177
うち初発型非行総数		374	330	266	170	194	142	115	100	103	81
構成比(%)		59.8	54.5	61.4	52.8	60.4	52.2	48.5	50.8	47.5	45.8
手口別	万引き	168	138	132	66	112	79	53	52	58	36
	オートバイ盗	45	59	39	39	33	24	12	21	11	13
	自転車盗	79	68	53	41	23	22	36	17	26	21
	占有離脱物横領	82	65	42	24	26	17	14	10	8	11

### (2) 手口別・学職別状況

令和4年中の初発型非行の検挙・補導人員の手口別では、万引きが36人(44.4%)で最も多く、次いで、自転車盗が21人(25.9%)、オートバイ盗が13人(16.0%)、占有離脱物横領が11人(13.6%)であった。学職別では、高校生が36人(44.4%)で最も多く、次いで中学生の20人(24.7%)であった。

第22表 初発型非行の手口別・学職別状況

手口別	学職別	総数	児童生徒学生				その他の学生	有職少年	無職少年
			小学生	中学生	高校生				
万引き		36	29	4	13	9	3	5	2
オートバイ盗		13	8	0	2	6	0	5	0
自転車盗		21	21	0	3	15	3	0	0
占有離脱物横領		11	10	0	2	6	2	0	1
総数		81	68	4	20	36	8	10	3
	構成比(%)	100.0	84.0	4.9	24.7	44.4	9.9	12.3	3.7
令和3年		103	85	8	21	52	4	12	6
増減	人員	-22	-17	-4	-1	-16	4	-2	-3
	率(%)	-21.4	-20.0	-50.0	-4.8	-30.8	100.0	-16.7	-50.0



### 13 少年の街頭犯罪の状況

令和4年中に街頭犯罪で検挙・補導した少年は42人で、成人を含めた検挙・補導人員のうち少年の割合は48.3%を占めた。罪種別の少年の割合を見ると、路上強盗、部品ねらいは100%、オートバイ盗は92.9%、自転車盗は58.3%を占めた。

第23表 街頭犯罪検挙状況

罪種別	学職別							有職少年	無職少年	少年の検挙・補導人員	成人を含めた全検挙・補導人員	少年の占める割合(%)
	総数	児童生徒学生	小学生	中学生	高校生	大学生	その他の学生					
街頭犯罪	42	36	0	7	26	3	0	5	1	42	87	48.3
路上強盗	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	100.0
自動車盗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0
ひったくり	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	25.0
車上ねらい	2	2	0	1	1	0	0	0	0	2	14	14.3
部品ねらい	4	4	0	1	3	0	0	0	0	4	4	100.0
自販機ねらい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0
オートバイ盗	13	8	0	2	6	0	0	5	0	13	14	92.9
自転車盗	21	21	0	3	15	3	0	0	0	21	36	58.3

### 14 刑法犯少年の警察署管内別居住状況

令和4年中の刑法犯少年の警察署管内別居住状況は、四日市南警察署管内の24人が最も多く、次いで松阪警察署管内の19人であり、最も少ないのは紀宝警察署管内の0人であった。

第24表 刑法犯少年の警察署管内別居住状況

署別	年次	令和4年 人員
桑名	名	18
いなべ	ベ	3
四日市北		13
四日市南		24
四日市西		9
亀山		5
鈴鹿		15
津		16
津南		6
松阪	阪	19
大台		2
伊勢		12
鳥羽		9
尾鷲		1
熊野		1
紀宝		0
伊賀		4
名張		7
三重県		164

(注)人員は県内において検挙・補導した県内居住少年

### 15 事件・事案の処理状況

令和4年中の事件・事案の処理状況は、刑法犯少年（触法少年を除く。）148人のうち、検察庁へ身柄付送致した少年は11人（7.4%）であった。

触法少年29人のうち、児童相談所へ送致した少年は2人（6.9%）、児童相談所等に通告した少年は22人（75.9%）であった。

第25表 刑法犯少年の罪種別送致等の状況

罪種別	処理区別	犯 罪 少 年			触 法 少 年				
		身柄付送致	書類送致	簡易送致	児童相談所送致	児童相談所等通告	警察限りの措置		
総	数	148	11	96	41	29	2	22	5
	構成比（%）	—	7.4	64.9	27.7	—	6.9	75.9	17.2
凶	悪 犯	5	4	1	0	0	0	0	0
	殺 人	0	0	0	0	0	0	0	0
	強 盗	3	3	0	0	0	0	0	0
	放 火	1	1	0	0	0	0	0	0
	強制性交等	1	0	1	0	0	0	0	0
粗	暴 犯	28	2	26	0	6	1	5	0
	凶器準備集合	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴 行	5	0	5	0	2	0	2	0
	傷 害	19	2	17	0	4	1	3	0
	脅 迫	2	0	2	0	0	0	0	0
	恐 喝	2	0	2	0	0	0	0	0
窃	盗 犯	82	2	49	31	16	0	12	4
	侵 入 盗	7	0	7	0	1	0	1	0
	乗 物 盗	33	1	20	12	1	0	1	0
	非 侵 入 盗	42	1	22	19	14	0	10	4
知	能 犯	6	3	3	0	0	0	0	0
	詐 欺	5	3	2	0	0	0	0	0
	横 領	0	0	0	0	0	0	0	0
	偽 造	1	0	1	0	0	0	0	0
風	俗 犯	2	0	2	0	4	1	3	0
	賭 博	0	0	0	0	0	0	0	0
	わいせつ	2	0	2	0	4	1	3	0
そ	の 他	25	0	15	10	3	0	2	1
	占有離脱物横領	11	0	4	7	0	0	0	0
	そ の 他	14	0	11	3	3	0	2	1

16 全国の刑法犯少年検挙・補導状況

(1) 検挙・補導人員

令和4年中の全国の刑法犯少年の検挙・補導人員は20,912人で、前年に比べ513人(2.5%)増加した。

本県は、犯罪少年の検挙人員が25位、触法少年の補導人員が43位、総数が31位であった。

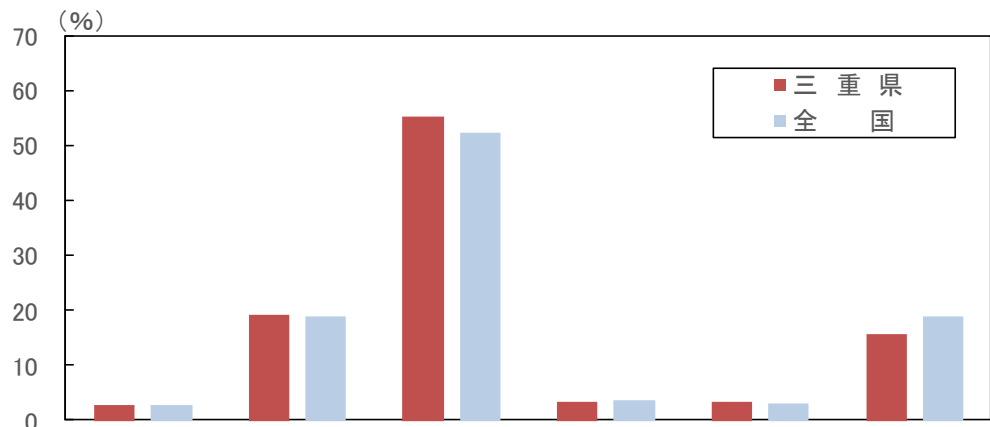
第26表 都道府県別刑法犯少年検挙・補導状況

都道府県	区別	総 数					犯 罪 少 年					触 法 少 年				
		順位	令和4年	令和3年	増減数	増減率(%)	順位	令和4年	令和3年	増減数	増減率(%)	順位	令和4年	令和3年	増減数	増減率(%)
北海道		8	879	823	56	6.8	9	588	524	64	12.2	5	291	299	-8	-2.7
東 北	青森	40	126	110	16	14.5	40	74	51	23	45.1	31	52	59	-7	-11.9
	岩手	41	120	119	1	0.8	42	67	61	6	9.8	30	53	58	-5	-8.6
	宮城	26	190	197	-7	-3.6	23	154	155	-1	-0.6	39	36	42	-6	-14.3
	秋田	43	85	99	-14	-14.1	46	50	62	-12	-19.4	40	35	37	-2	-5.4
	山形	37	132	123	9	7.3	38	81	73	8	11.0	32	51	50	1	2.0
福島	23	215	160	55	34.4	27	126	97	29	29.9	18	89	63	26	41.3	
東京都		1	3,042	2,925	117	4.0	1	1,919	1,876	43	2.3	1	1,123	1,049	74	7.1
東 関	茨城	22	243	253	-10	-4.0	21	164	158	6	3.8	23	79	95	-16	-16.8
	栃木	34	159	159	0	0.0	27	126	141	-15	-10.6	41	33	18	15	83.3
	群馬	21	251	207	44	21.3	20	173	174	-1	-0.6	24	78	33	45	136.4
	埼玉	7	921	938	-17	-1.8	7	764	799	-35	-4.4	11	157	139	18	12.9
	千葉	9	647	770	-123	-16.0	8	590	702	-112	-16.0	29	57	68	-11	-16.2
	神奈川	6	996	979	17	1.7	4	900	921	-21	-2.3	14	96	58	38	65.5
	新潟	18	266	234	32	13.7	18	178	164	14	8.5	19	88	70	18	25.7
	山梨	47	65	73	-8	-11.0	43	63	67	-4	-6.0	47	2	6	-4	-66.7
	長野	26	190	184	6	3.3	33	106	136	-30	-22.1	21	84	48	36	75.0
	静岡	11	574	573	1	0.2	10	413	437	-24	-5.5	10	161	136	25	18.4
中 部	富山	29	185	150	35	23.3	26	146	113	33	29.2	38	39	37	2	5.4
	石川	36	146	174	-28	-16.1	35	96	109	-13	-11.9	33	50	65	-15	-23.1
	福井	42	92	87	5	5.7	41	73	65	8	12.3	44	19	22	-3	-13.6
	岐阜	16	291	297	-6	-2.0	16	197	210	-13	-6.2	15	94	87	7	8.0
	愛知	3	1,354	1,324	30	2.3	3	1,134	1,133	1	0.1	7	220	191	29	15.2
	三重	31	177	217	-40	-18.4	25	148	172	-24	-14.0	43	29	45	-16	-35.6
近 畿	滋賀	15	355	346	9	2.6	15	249	227	22	9.7	13	106	119	-13	-10.9
	京都	13	465	500	-35	-7.0	14	283	338	-55	-16.3	8	182	162	20	12.3
	大阪	2	2,188	1,974	214	10.8	2	1,677	1,594	83	5.2	2	511	380	131	34.5
	兵庫	4	1,253	1,420	-167	-11.8	6	804	944	-140	-14.8	3	449	476	-27	-5.7
	奈良	17	282	269	13	4.8	17	189	172	17	9.9	16	93	97	-4	-4.1
	和歌山	25	196	233	-37	-15.9	24	149	148	1	0.7	36	47	85	-38	-44.7
中 国	鳥取	35	153	111	42	37.8	36	89	67	22	32.8	26	64	44	20	45.5
	島根	44	82	81	1	1.2	45	52	47	5	10.6	42	30	34	-4	-11.8
	岡山	14	435	417	18	4.3	13	299	301	-2	-0.7	12	136	116	20	17.2
	広島	10	623	550	73	13.3	11	365	320	45	14.1	6	258	230	28	12.2
四 国	山口	24	209	189	20	10.6	29	122	144	-22	-15.3	20	87	45	42	93.3
	徳島	45	78	68	10	14.7	44	59	60	-1	-1.7	44	19	8	11	137.5
	香川	30	181	137	44	32.1	31	120	102	18	17.6	27	61	35	26	74.3
	愛媛	20	254	246	8	3.3	22	161	157	4	2.5	16	93	89	4	4.5
	高知	33	162	151	11	7.3	34	104	94	10	10.6	28	58	57	1	1.8
九 州	福岡	5	1,213	1,111	102	9.2	5	881	778	103	13.2	4	332	333	-1	-0.3
	佐賀	38	128	97	31	32.0	37	87	62	25	40.3	37	41	35	6	17.1
	長崎	39	127	143	-16	-11.2	39	77	103	-26	-25.2	33	50	40	10	25.0
	熊本	19	260	242	18	7.4	19	177	161	16	9.9	22	83	81	2	2.5
	大分	46	66	89	-23	-25.8	47	47	63	-16	-25.4	44	19	26	-7	-26.9
	宮崎	28	187	170	17	10.0	32	111	103	8	7.8	25	76	67	9	13.4
	鹿児島	32	169	198	-29	-14.6	30	121	150	-29	-19.3	35	48	48	0	0.0
	沖縄	12	500	482	18	3.7	12	334	283	51	18.0	9	166	199	-33	-16.6
総 数			20,912	20,399	513	2.5		14,887	14,818	69	0.5		6,025	5,581	444	8.0

## (2) 包括罪種別構成比の対比

令和4年中の包括罪種別構成比を見ると、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯及び風俗犯が全国の数値を上回った。

第16図 刑法犯少年の包括罪種別構成比の対比



区分		罪種別						
		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	
三重県	総数(人)	177	5	34	98	6	6	28
	構成比(%)	—	2.8	19.2	55.4	3.4	3.4	15.8
全国	総数(人)	20,912	572	3,967	10,967	780	668	3,958
	構成比(%)	—	2.7	19.0	52.4	3.7	3.2	18.9